

令和4年度第2回光市行政改革市民会議【要旨】

開催日時 令和5年3月20日（月）

13時30分～15時

開催場所 市役所本庁大会議室1、2号

1 部長あいさつ

皆様、こんにちは。本日は大変お忙しい中、この会議にご出席をいただき、本当にありがとうございます。早いもので本日が皆様方第9期の任期の最後の会議ということになりました。

今期の市民会議ですが、コロナ禍真っ只中での開催ということで、皆様方には様々な面でご負担おかけし、またご心配もいただいたかと思えます。そうした中で、行財政構造改革推進プランの策定あるいは公共施設等総合管理計画の改訂といった市にとって大変重要な計画作り、指針の策定に多大なる御協力をいただきました。これらのことに対して、重ねてお礼を申し上げます。

本日でございますが、令和5年度に実施を予定している事業をご紹介させていただき、その中から、行財政構造改革推進プランに基づく取組や公共施設等総合管理計画の進捗状況について具体的にお示しさせていただきます。

私達を取り巻く社会には、人口減少・少子高齢化をはじめ、様々な課題がございますが、こうした課題に対して、市民会議の場で市民目線に沿った様々なご意見をいただくことが本会議の目的でございます。ともすれば私たち行政目線だけになってしまいがちな中で、皆様方から様々なご意見をいただきながら、偏った考え方を修正していくことが、この会議の一つの大きなポイントと思っております。本日の会議をもって一つの区切りを迎えますが、皆様方におかれましては、今後とも、このような会議の場、あるいはそれ以外にも様々なご意見をいただく機会がまち作りの中であろうかと思っておりますので、今後とも忌憚のないご意見・ご提言をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしく願いいたします。

2 議題

(1) 令和5年度の行財政構造改革推進プランの取組について

令和5年度光市当初予算（案）の概要や民間提案制度、トライアル・サウンディングについて事務局が説明した後、各委員からご意見、ご提言を受けるとともに、意見交換を行いました。

【委員意見及び事務局回答要旨】

委員

今日が2年目の最後ということで、反省を含めながら4点申し上げます。

一つ目に、私は、この会議の一番最初に、下松市との比較で光市は負けているのではと申

し上げたと思いますが、昨年の様々な調査結果を見ると、光市が非常に住みやすい街の上位に位置しており、皆さんの取組が効いているのかは分かりませんが、非常に昨年度中から心強く思いました。だから、光市の取組が下松に負けているのではと思ったこともありました。そうでもないということで感謝しております。

二つ目ですが、公共施設に事業者により愛称を付与するネーミングライツは、事業者にとってPRになるためプラスと思います。また、ある程度事業者から光市への金銭の支出もしていただけることも市にとってメリットだと思います。また、私も周南市にある事業者の愛称がついたグラウンドを利用することが多いのですが、愛称のついた施設は市民にとって親しみやすいのではと思っています。ぜひこれは、実現していただきたいと思います。

三つ目に、今後、ひかり学園ができますが、その過程で大和や島田には、利用されなくなる学校が出てきます。他市では、民間企業が学校ごと借り上げ、そこをオフィスにしたという事例があるので、提案制度自体もどんどん進めていただきたいです。ただ、この制度の内容が、一般市民の方がどこまで理解できているか不安なので、いろんな機会に市民にPRして欲しいと思います。

最後に、虹ヶ浜海水浴場や新開の海水浴場、室積の山などに対する取組が、以前の方が力が入っていたと思うので、下松や周南に無いこの光の良さを皆さんで考えて是非後世に伝えていただきたいと思います。

事務局

様々なご意見ありがとうございます。

確かに下松市と光市はよく比較されますが、お互い特性が違いますので、競うところは競い、お互い連携して伸ばせるところ伸ばすという関係が良いと思っています。その点でいうと、首長同士の交流も盛んに行ってますので、良い方向に向かっていると思っています。本来は、人口の面で競えれば良いのですが、今のところ光市は及ばないところがあります。ただ、例えば住みやすさは決して負けてはいないと思います。

ネーミングライツ等については、光市総合体育館、大和総合運動公園や冠山総合公園に対してネーミングライツパートナーの募集をし、様々なセールス活動にも力を入れたのですが、結果が出ておりません。ただ、ネーミングライツパートナーの募集は、今後試行錯誤を重ねることもあると思いますが、民間提案型の一部として仕組みを移し、引き続き続けていきたいと思っています。

虹ヶ浜や室積の海水浴場ですが、資料の18頁の下に、チャレンジショップ等海水浴場環境整備事業というのを挙げております。虹ヶ浜海水浴場には、今年度もシャワーを設置しましたが、次年度はシャワーをさらに増設し、チャレンジショップを新たに開設します。昨今、海の家が減って大変寂しい状況になっており、賑わいを取り戻すためにも、市がコンテナのような建物を設置して、そこで店舗営業をしたいという方に来ていただき、夏場に海の家のようなイメージで賑わいを作り出していく事業を行いたいと思います。事業は観光協会と共に実施しますが、その成果も踏まえ、今後のあり方も考えていきたいと思います。また、民間提案制度で虹ヶ浜海岸を舞台に何かやってくれる事業者がいらっしゃらないかという思いは私たちももっております。

委員

「ひかりの魅力発信・発見支援事業」ですが、「こんなことをやってみたい」と思った場合、相談はどの部署にしたらよいのでしょうか。

事務局

「ひかりの魅力発信・発見支援事業」は、このたびの機構改革で、シティープロモーションと観光の二つの側面から検討した事業です。今回の機構改革により、シティープロモーションは政策企画部から経済部に移管され、観光とシティープロモーションが一体となった観光・シティープロモーション推進課が4月からできる予定です。4月以降は、観光・シティープロモーション推進課が直接の担当になろうかと思えます。

また何かあれば行政経営室でお答えできる範囲でお答えさせていただきますが、制度設計等は4月から新しい部署で進めていくので、今説明できる事業の内容は、資料に記載している、「まちへの愛着や誇りを醸成するとともに市内の魅力を市内外に発信するための市民団体が主催するイベントを支援する」ということになります。それ以上のことは、4月以降に観光シティープロモーション推進課に伺っていただければと思います。一方で、もし、この事業を活用してみたいアイデアがあれば、参考までにお聞かせください。

委員

13頁の医療環境充実プロジェクトの「プラス葉酸☆人生最初の1,000日応援事業」で乳幼児の応援をしていただけた事業は素晴らしいなと思いました。葉酸はお年寄りの認知症の予防等にもすごくいいと言われているので、高齢者の方が元気でいつまでも生き生きとされていच्छゃると、若い方も大変生活自体が楽でお母さん方もとても楽ではないかと思うので、認知症などの高齢化対策のようなものもあつたらいいなと思いました。

21頁の「光市スクールカウンセラー派遣事業」ですが、スクールカウンセラーが入られてどのような効果があったのでしょうか。個人的な所感としては校内カウンセラーに相談できない子どもも多いのではと思っています。外部へのサポートや子どもへの対応というよりも、そのお子さんと一緒に生活しているお母さんの影響が子どもにとって一番大きいと思うので、保護者の方向けの講演や啓発等の取組あつてもいいのではと思いました。

最後に、32頁の「人材育成・女性活躍推進事業」ですが、少し前の新聞に、日本は世界的に見て女性の登用がすごく少ないという記事を見ました。お母さん目線というか、家庭を持ちなが働く方の目線もとても大切だと思うので、そのような視点も踏まえた上で、活躍する女性が増えていच्छゃらいいなという感想を持ちました。

事務局

まず「プラス葉酸☆人生最初の1,000日応援事業」について、高齢者に対しても同様の事業をとつご意見でしたが、現時点では妊婦さんに対して、妊娠準備期から産後までの母子の健康を支援するという主旨で事業を行つていच्छゃらと思つております。今後の検討課題としてご意見は受けとめさせていただきます。

光市スクールカウンセラー派遣事業ですが、こちらで、成果をはつきりと確認しているわけではありませんが、これについては昨年度の実績を踏まえ、派遣の回数を増やした経緯があります。今、スクールカウンセラーの需要が非常に高いと現場からも多くの要請が来つてい

るといふことも聞いておりますので、この事業はこの事業でニーズの高い、重要な事業であると考えています。ご家族も含め、お母さん方への支援をというご提案をいただきましたが、詳しく把握しているわけではありませんが、現場でもご家族も含めての支援をおそらく行っているとは思いますが、そのことが、各家庭に届いていない、あるいはPR不足という点があれば、状況も確認した上で、教育担当部署にご意見を伝えます。

「人材育成・女性活躍推進事業」ですが、「人材育成・女性活躍推進室」という新しい部署も作っており、あくまで光市役所で働く女性活躍ということにはなりますが、予算をつけて推進していくこととしております。

委員

先ほどから虹ヶ浜等の活用をもう少しの方が良いのではというご意見がある一方、虹ヶ浜ではウェディングイベント等が開催されたり、光花火大会が4年ぶりに復活する予定となったり盛り上がっているように思います。

ところで、数年前に虹ヶ浜で開催されていた、渚のライトアップイベントは、今後復活する予定はないのでしょうか。

事務局

虹ヶ浜海岸を夜に7色に染める渚のライトアップはかなり全国紙にも取り上げられて反響があったように記憶しております。しかし、3年程度前だったと思いますが、詳しいことは手元に資料がないため申し上げることはできませんが、当時、所管で費用対効果を検証した上で最終的に取りやめということになったと記憶しております。

(2) 公共施設マネジメントの進捗状況について

公共施設マネジメントの進捗状況について、事務局が報告した後、各委員からご意見、ご提言を受けるとともに、意見交換を行いました。

【委員意見及び事務局回答要旨】

意見等はありませんでした。

(3) その他(これまでの感想、市民会議のあり方、行財政改革の取組全体に対して等)

任期を終えるにあたり、委員の方から、これまでの感想や今後の市民会議のあり方、行財政改革の取組全体に対して等のご意見等をいただきました。

委員

2年間お世話になりました。

行政改革市民会議に携わって感じたのですが、高齢者に対するスマホ購入支援等について、広く情報が行き渡っておらず、一部の人がしか恩恵を享受できていないことが問題ではないかと思ったことがありました。しかし、それをどうすればいいかという改善策をこの場で発言して建設的な議論をしたいと考えていたのですが、なかなかできなかったことが反省点です。

最後に、虹ヶ浜海水浴場もそうですが、室積はもっと寂れており、国道を自動車で行っても清山から室積方面は非常に空地が多いし、花火大会も無くなったりと、寂しい限りなので、室積や光井地区での取組にももう少し力を入れていただきたいと思います。よろしくお願いします。

委員

この2年間会議に参加させていただきありがとうございました。

私はあまり意見をすることはなかったのですが、この会議を通して市の現状や、委員の皆さんのご意見に共感する部分がありました。私は残念ながら、退任することになりますが、今後この会議の委員を引き続きされる方や新たに入られる方は、ぜひこの機会に積極的に意見をさせていただくことが、より一層の光市の発展のためになるのではないかなと思っています。

委員

2年間お世話になりました。

私は光市の財政や様々な事業については、市の広報や市議会の議員さんの活動報告などで断片的には目にすることがありましたが、この2年間この会議に参加させていただいて、わからないこともまだまだありますが、大変勉強になりました。

私の住んでいる周防地区は、光市の中でも高齢化、少子化が進んでいるところで、いろいろな話し合いがされています。周防柱松や元旦登山等の行事を一生懸命やっていますが、なかなか人口増加が見込めない状況です。来期はこの会議の中で高齢化が進む地域でどのような話し合いが行われているかを報告できたらと思います。

どうもありがとうございました。

委員

お世話になりました。

私もこの会議に参加するまでは、光市に住んでいながら自分の身の回りのことぐらいしか気にしていませんでしたが、この会議で予算の使われ方やさまざまな計画が立てられていることを知り、自分の視野が広がり、光市民目線で市の活動を見ることができるようになったかなと思っています。

資料の中の「光の魅力発信・発見支援事業」で直木賞作家の角田光代さんを呼んだ会で私はボランティアとして参加させていただきました。市の事業として位置づけ、計画された活動の中に自分が参加したんだという喜びを市の資料での記載を見て感じました。

勉強させていただきありがとうございました。

委員

2年間どうもありがとうございました。

私は、この会議で何ができるのだろうか考えていたのが2年前でした。最初に発言した内容が下松との違い等、市職員にとって耳の痛い厳しい意見をしたこともありました。しかし、私が述べたことが計画の中に少しは反映されており、非常に頼もしく思いました。

先ほども申し上げましたが、ここで議論されたことが、広報等を通じて、一人でも多くの市民の皆さんに分かっていただけたら、さらにこの会が発展するのではないかと思います。

お世話になりました。

委員

お世話になりました。私は年金生活なので、この会議に参加させていただく前までは、年金が安い、税金が高い等、主婦が集まればそんな話ばかりしていました。

しかし、この会議に参加して、何をするにもお金がかかるということがよく分かりました。住みよいまち作りのために財源がいくら必要で、それを確保するために市がいかに努力されてるのがよく分かり、今では考え方が変わりました。難しいこともたくさんありましたが随分理解できました。

ありがとうございました。

委員

2年間お世話になりました。

最近豪雨災害や台風等、年に一、二回大きな災害が起き川の氾濫や側溝や青線が被災し、私だけでなく、他の方も市に相談に行かれています。第一声で返ってくる返事は、「予算がないからできない。地域でやってくれ」という内容です。これはまさに縮減です。一方で、人口増加や地域を盛り上げる事業があり、矛盾していると感じます。縮減ばかりだと魅力あるまちはできないので、使うところはどんどん使わないといけないし、メリハリをつけて欲しいと思います。また、具体的にこういうものにお金をたくさんつけて光市は事業をしているという明確なビジョンを示して欲しいと思います。

2年間ありがとうございました。

委員

2年間ありがとうございました。

私は、あんなことができたらいいのにやこんなことができたらいいのにと思ひ描くことが多いのですが、市に少しずつ取り上げていただき感謝しています。

北海道では移住体験があると思うのですが、光にも空家がたくさんあるので、移住体験を実施してみてもいいと思います。

委員

初めてこういう場に参加させていただき、皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。

このような場で話し合われたことがどのように予算化されていくのかを知ったり、皆様の様々な立場からのご意見をお聞きして、視野が広がりました。ありがとうございました。

市役所の方もこの場で出た意見を予算の中にできる範囲で取り入れていただいたので、これからもこういう会議で委員の皆様の意見をどんどん取り入れて、さらに光市が発展することを望んでいます。私も努力していきたいです。

お世話になりました。ありがとうございました。

委員

2年間ですが会議に参加させていただきありがとうございました。

私も知らないことが多く、この会議に参加することで、例えばネーミングライツ等様々なことを知ることができ、勉強になりました。

先ほど市の財源の話題がありましたが、ふるさと納税でよく全国の自治体間で勝ち組や負け組という言われ方をする世の中になってはいますが、光市でも、さらに力を入れて、財源を増やすというのにも良いのかなと思いました。

2年間どうもありがとうございました。

委員

発言することが少なく、あまりお役に立てなかったかもしれませんが、お世話になりました。

そこにも横断幕がありますが、このたび光高校が甲子園に出るということで、非常に光市のPRになるのではと、OBとしても非常に嬉しい限りです。

光市のPRに関して、ふるさと大使にぺこぱの松蔭寺さんになっていただくと宣伝効果が高いのではと思っています。

委員

個人的なことですが、私は光市の弓道連盟に所属し普及活動をしているのですが、光市には弓道場がないため、光高校の弓道場で練習させていただいています。他の市町には弓道場があることが多く、下松には市所有の道場はありませんが、企業所有の道場が2ヶ所あります。この会議に参加する中で、公共施設は無駄なものも多いため、どんどん減らさなければならぬし、お金がないから道場は作れないと思っていました。また、中学生にも弓道をやりたいお子さんがいらっしゃるので、そのような方々を受け入れていきたいのですが、練習場がないからできないという状況があって残念に思っていました。しかし、来年度の予算を見ると、子どもたちの意見から屋外バスケットゴール整備事業がありますし、下松市にも弓道場を作る予定があるようなので、光市にも道場が整備されることが期待できるのではと思いました。

ありがとうございました。

委員

2年間ありがとうございました。

議事を進行する立場になってから、皆さんからどのような意見が出るだろうか、どうすれば意見を出してもらえるか等を考えてきましたが、力及ばないことも多く、いろいろご迷惑おかけしたのではと思います。今皆様からの発言が様々ありましたが、お一人お一人は、光市に対して思いがあり、いろんなアイデアを持たれていると改めて感じました。良くも悪くも光市は贅沢はしないが不満もないという、生活水準が平均的な方が多いのではと思っています。従って、ある意味一歩距離を置いて市政に対して、他人事でお任せするというスタンスの方が多いのではという印象です。しかし、自分の身の回りのことになるとそれなりにもっとこうした方がいいという意見は持っているのだからこそ、皆様お一人お一人が他人任せから自主的にになっていただき、私も皆さんの意見をなるべく拾い上げて、この会議で取りまとめて、市に伝えるということ、掘り下げてやってみたいなというふうに思います。

2年間本当にありがとうございました。

事務局

様々なご意見をいただきましたので、お答えをさせていただきます。

虹ヶ浜だけでなく室積や光井、周防地区に関するお話をいただきました。私達もそうですが、かつての賑わいを知っている者からすれば、今はすごく寂しいと思っています。そうした状況ですが、室積海岸に対しては、現在は砂浜の侵食対策を主軸に事業展開しているというのが実情です。この事業には、見えないところで相当な予算を割いて、何とか砂の流出を止め、景観を維持できるよう、取り組んでいます。どうしても華やかな虹ヶ浜海岸に目が向いてしまいますが、瀬戸内に残る数少ない昔ながらの白砂青松の室積海岸も守っていかなければいけないと思っています。なかなか国の補助がつかないため、事業が伸びてしまうのですが、市としても自然を守るために一生懸命事業を行っていますので、ご理解をいただければと思います。

市政にメリハリをとというご意見をいただきました。確かに予算がないというのは我々の常套句なのかもしれません。本当に予算がないこともあるのですが、ともすればそれを言い訳にしている部分もあるかもしれません。私達もメリハリをつけなければいけないと思います。現在、財政調整基金という貯金を持っているのですが、それを貯め過ぎず、一定の額を確保し、それを上回る分については積極的に市政に還元しなければいけないということで、市民満足度向上事業という形で資料の中にもお示しをさせていただいております。このように、メリハリに心がけた取り組みもすでに実施しております。こちらの言葉足らずの面もあるかもしれませんが、ご容赦いただき、今申し上げた取組にも注目をいただければと思います。

ふるさと納税についてのお話もいただきました。今、全国的に盛り上がり、光市は残念ながら決して少ないというわけでもありませんが、それほど多いというわけでもないような状況です。これについては市内の様々な事業者の方々にとっても一つのビジネスチャンスと思いますので、引き続き様々な団体の皆様や事業者の方々にもお声がけをさせていただきながら返礼品を拡充し、少しでもたくさん寄附をしていただけるように、頑張りたいと思います。

ふるさと大使については、現在市としてふるさと大使は設けておらず、観光協会が光きらめき大使としてあさみちゆきさんを任命しています。任命した時期が平成24年度という事もあり、現在活動は落ち着いています。ぺこばさんをふるさと大使にというご意見はよく伺っており、市としても事務所に話を持ち掛けたこともあるのですが、事務所のガードが固く、話が進んでいないという状況です。ただご提案については、継続してチャレンジしてみることが大事だと思っているので、常に時機を見計らっております。

その他様々な温かいご意見ご提言をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

冒頭の繰り返しになりますが、任期の間、皆様方には、多大なるご支援、ご協力いただき、どうもありがとうございます。皆様方との一番大きな成果は、やはり行財政構造改革推進プランを作れたことだと思っています。これは市長の公約であり、市にとっても最も重要な計画の一つです。その中に、民間提案制度やトライアル・サウンディングを入れることができたので、我々はそれらを遂行していくことが責務です。皆様方から計画をつくる中で、様々

なご意見ご提言をいただき、それらを計画に反映することができたからこそ、今の具現化に向けての歩みに繋がっていると考えています。これから、また行政改革市民会議委員として、あるいは、一市民として引き続き、様々な面からご意見ご提言をいただければと思いますので、今後とも引き続きよろしくお願いいたします。以上簡単ではございますけれども私からの最後のご挨拶とさせていただきます。

その他

事務局から、事務連絡がありました。